



軽防協ニュース速報

2025 年第 2 四半期(4 月-6 月)の伝染病発生状況

2025 年 7 月配信

(International Collating Centre からの情報)

ICC の概要

International Collating Centre (ICC) は、35 年以上にわたり、世界の馬の疾病発生データを編集しており、Equine Infectious Disease Surveillance (EIDS) によって監督されています。ICC は国際馬術連盟、国際サラブレッド生産者連盟のメンバー、日本中央競馬会、ランウェイズスタッドからの寄付によって、多大な支援を受けています。

ICC は、国内外の馬の疾病発生を毎日電子メールで報告しています。報告を受け取るには equinesurveillance@vet.cam.ac.uk までご連絡ください。ICC ビューアーのウェブサイトでは、詳細なインタラクティブレポートが提供されています。利用者は、国または地域ごとにデータを分析したり、特定の日付範囲や状態を選択したり、報告された発生の概要を表示したりできます。 <https://equinesurveillance.org/iccview/> をご覧ください。

レポートの概要

この文書は、2025 年の第 2 四半期における国際的な疾病発生の概要を示している。リアルタイム ICC レポートで報告されていなかった国の疾病発生に関する追加の概要レポートも提示されている。この追加情報は、本レポート全体を通して、該当する表と本文中に #印を付して示されている。このレポートに示されているデータは、慎重に解釈する必要がある。検査のために提出されるサンプルや、その後に報告に至るまでの方法には多少のバイアスがある可能性がある。したがって、これらのデータは国際的な馬の集団における伝染病発生率を的確に反映しているわけではない。疾病の発生が報告されていない国は、必ずしもその国に疾病が存在しないことではない。各表は国別に報告された疾病の発生件数をまとめたものであり、複数頭含まれる可能性がある。レポートは、身体の器官別に分類されている。

- ・繁殖器疾患
- ・呼吸器疾患
- ・消化器疾患
- ・神経疾患
- ・その他の疾患

繁殖器疾患

発生国	CEM	EHV-1	EHV-3	EHV-4	<i>K. pneumoniae</i>	<i>Strep. zoo</i>
ベルギー	-	2#	-	-	-	1#
フランス	-	3	1	-	-	-
ドイツ	20	2	-	-	-	-
アイルランド	-	6#	-	2#	2#	-
日本	-	1#	-	-	-	-
オランダ	-	8	-	-	-	-
スウェーデン	-	2	-	-	-	-
イギリス	-	-	-	1	-	-
アメリカ	-	1	-	-	-	-

#：四半期後に報告があった追加情報

馬伝染性子宮炎（CEM）

ドイツ

19 件は、バイエルン州、ニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、ラインラント・プファルツ州にある施設でそれぞれ 1 例ずつ確認された。残りの 1 件は、バイエルン州の施設で 2 例発生した。陽性診断は、生殖器スワブの PCR 検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス 1 型（EHV-1）による流産

ベルギー

アントワープ州の施設にいるワクチン未接種の馬で 1 例報告された。陽性診断は、胎子組織の PCR 検査により行われた。また、四半期後、リエージュ州の施設でもう 1 例報告された。こちらは胎子の肝臓と肺組織の PCR 検査で陽性が確定した。

フランス

3 件報告された。それぞれウール・エ・ロワール県、オート・ガロンヌ県、アンドル県にある施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断は、胎児組織と胎盤物質の PCR 検査で行われた。

ドイツ

2 件報告された。それぞれニーダーザクセン州とメクレンブルク・フォアポンメルン州にある施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断は、子宮頸部スワブ、胎子肺吸引液、胎盤など、複数の検体を組み合わせた PCR 検査が行われた。

アイルランド

四半期後、レンスター州（3 例）とマンスター州（3 例）の施設でそれぞれ報告された。

#日本

四半期後、ワクチンを接種したサラブレッドに 1 例報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

オランダ

8 件報告された。そのうち 7 件は、フレーヴォラント州、ヘルダーラント州、リンブルフ州、オーフェルアイセル州、ゾイトホラント州、ユトレヒト州にある施設でそれぞれ 1 例ずつ確認された。残りの 1 件は、ノールトホラント州の施設で 2 例確認された。陽性診断はすべて PCR 検査で行われた。

スウェーデン

2 件報告された。どちらもブレーキング県とウプサラ県の施設でそれぞれ 1 例ずつ発生した。

アメリカ合衆国

ユタ州の施設で 1 例報告された。

馬ヘルペスウイルス 3 型 (EHV-3) (馬皰疹)

フランス

アヴェロン県にある施設で、11 歳のシェットランド種の雌馬に 1 例確認された。陽性診断は生殖器スワブの PCR 検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による流産

アイルランド

四半期後、レンスター州（1 例）とアルスター州（1 例）の施設でそれぞれ報告された。

イギリス

イースト・サセックス州の施設で 1 例報告された。陽性診断は、胎子組織の PCR 検査で行われた。

Klebsiella pneumoniae による流産

アイルランド

四半期後、レンスター地方の施設で 2 例報告された。そのうち 1 例は莢膜型 5 型、もう 1 例は莢膜型 2 型であった。

Streptococcus zooepidemicus による流産

ベルギー

ルクセンブルクの施設で、四半期後に 1 例報告された。陽性診断は、胎子の肝臓と肺組織の PCR 検査で行われた。

呼吸器疾患

発生国	EHV-1	EHV-2	EHV-4	EI	ロドコッカス	腺疫	S.zoo
ベルギー	-	1#	-	-	-	-	-
カナダ	2	-	1	9	-	6	-
エストニア	1	-	-	-	-	-	-
フランス	8	-	46	-	13	50	-
ドイツ	34	-	12	2	-	37	-
アイルランド	-	-	11#	-	6#	15#	-
イタリア	1	-	-	-	-	-	-
日本	-	-	-	14#	-	-	-
オランダ	3	-	14	-	18	26	-
南アフリカ	4#	-	4#	-	-	-	-
スウェーデン	6	-	-	-	-	5	1
スイス	2		-	-	-	3	-
イギリス	-	-	6	2	-	-	-
アメリカ	1		-	5	-	34	-

#：四半期後に報告があった追加情報

馬ヘルペスウイルス1型（EHV-1）による呼吸器感染症

カナダ

2件報告され、ケベック州の異なる施設でそれぞれ1例ずつ確認された。

エストニア

ハルユ県にある施設で1件報告され、3例が確認された。陽性診断はPCR検査で行われた。

イタリア

ローマ県の施設で1例報告された。陽性診断は鼻腔スワブのPCR検査で行われた。

フランス

8件報告された。そのうち6件は、アルプ・マリタイム県、カルヴァドス県、オート・ガロンヌ県、オルヌ県、セーヌ・エ・マルヌ県、イヴリーヌ県にある施設でそれぞれ1例ずつ確認された。残りの2件は、カルヴァドス県とアンドル・エ・ロワール県にある施設でそれぞれ2例確認された。これらの症例の大部分は、鼻咽頭スワブのPCR検査で陽性診断が行われた。

ドイツ

34件報告された。そのうち31件は、ニーダーザクセン州、メクレンブルク・フォアポンメルン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州にある施設でそれぞれ1例ずつ確認された。また、メクレンブルク・フォアポンメルン州とノルトライン・ヴェストファーレン州にある施設ではそれぞれ2例が確認された発生

が2件、メクレンブルク・フォアポンメルン州の施設では5例が確認された発生が1件報告された。陽性診断は、鼻腔スワブ、鼻咽頭スワブ、EDTA加血液、咽喉部スワブなど、複数の検体を組み合わせたPCR検査が行われた。

オランダ

3件報告され、ドレンテ州、フレーヴォラント州、フリースラント州の各施設でそれぞれ1例ずつ確認された。陽性診断はPCR検査で行われた。

#南アフリカ

四半期後、4件報告された。東ケープ州（1例）、フリーステート州（1例）、ハウテン州（1例）、クワズールー・ナタール州（1例）であった。

スウェーデン

6件報告され、イエムトランド県、カルマル県、ニーショーピング市、ウプサラ県、ヴェステルボッテン県、ヴェステルノールランド県の各施設でそれぞれ1例ずつ確認された。

スイス

2件報告され、アールガウ州とジュネーブ州の各施設でそれぞれ1例ずつ確認された。このうち1例は、EHV-4との混合感染であった。臨床症状として発熱を認めた。陽性診断はPCR検査で行われた。

アメリカ

バージニア州の施設で1例報告された。臨床症状として発熱と食欲不振を認めた。

馬ヘルペスウイルス2型（EHV-2）による呼吸器感染

#ベルギー

四半期後、1例報告された。臨床症状として発熱、鼻汁、リンパ節の腫脹を認めた。陽性診断は、鼻腔スワブのPCR検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス4型（EHV-4）による呼吸器感染

カナダ

ケベック州の施設で1例報告された。臨床症状として、発熱と頻呼吸を認めた。

フランス

46件報告された。そのうち38件は、アイン県、アルプ・ド・オート・プロヴァンス県、アルプ・マリティーム県、ブーシュ・デュ・ローヌ県、カルヴァドス県、シャラント県、シャラント・マリティーム県、ウール県、ウール・エ・ロワール県、オート・サヴォワ県、オート・ガロンヌ県、イル・エ・ヴィレーヌ県、メーヌ・エ・ロワール県、マンシュ県、マイエンヌ県、サヴォワ県、セーヌ・マリティーム県、オルヌ県、ピュイ・ド・ドーム県、ローヌ県、サルト県、ヴァンデ県の施設でそれぞれ1例ずつ確認された。また、6件は、カルヴァドス県、シャラント・マリティーム県、オート・マルヌ県、マンシュ県、モルビアン県、オルヌ県の施設でそれぞれ2例ずつ確認された。その他、それぞれ1

件ずつ報告があり、アヴェロン県の施設で4例とシャラント・マリティーム県の施設で8例確認された。

ドイツ

12件報告され、ニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、シュレーズヴィヒ・ホルシュタイン州の各施設で1例ずつ確認された。臨床症状としては、鼻汁、発熱、下顎リンパ節の腫脹を認めた。陽性診断は、鼻腔スワブまたは鼻咽頭スワブのPCR検査で行われた。

#アイルランド

四半期後、レンスター地方（7例）とマンスター地方（4例）の施設でそれぞれ報告された。

オランダ

14件報告され、ドレンテ州、フリースラント州、ヘルダーラント州、リンブルフ州、ノールトブラバント州、ノールトホラント州、オーフェルアイセル州、ユトレヒト州でそれぞれ1例ずつ確認された。陽性診断はPCR検査で行われた。

#南アフリカ

四半期後に西ケープ州で4例報告された。

イギリス

6件報告された。そのうち5件は、ダービーシャー、ハンプシャー、オックスフォードシャー、シュロップシャーの各施設でそれぞれ1例ずつ確認された。残りの1件は、オックスフォードシャーの施設で2例確認された。臨床症状としては、発咳、元気消失、リンパ節腫脹、発熱、鼻汁を認めた。陽性診断は、鼻咽頭スワブのPCR検査で行われた。

ロドコッカス・エクイ

フランス

13件報告され、アヴェロン県、カルヴァドス県、ドローム県、ロワール・アトランティック県、マイエンヌ県、オルヌ県、ローヌ県、ヴォクリューズ県でそれぞれ1例ずつ確認された。陽性診断は、気管洗浄液、鼻咽頭スワブ、またはリンパ節の検体を用いたPCR検査で行われた。

#アイルランド

四半期後、レンスター地方（5例）とマンスター地方（1例）の施設でそれぞれ報告された。陽性診断は、PCR検査または培養検査で行われた。

オランダ

18件報告された。フレボラント州、フリースラント州、ヘルダーラント州、リンブルフ州、ノールトブラバント州、ゾイトホラント州の各施設で1例ずつ確認された。陽性診断はPCR検査で行われた。

馬インフルエンザ（EI）

カナダ

9 件報告された。そのうち 7 件は、アルバータ州、オンタリオ州、ケベック州の各施設で 1 例ずつ確認された。2 件はオンタリオ州の各施設で、それぞれ 2 例確認された。臨床症状としては、発咳、鼻汁、発熱を認めた。

ドイツ

2 件報告され、ノルトライン・ヴェストファーレン州とシュレースヴィヒ・ホルシュタイン州の各施設でそれぞれ 1 例ずつ確認された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

日本

3 件報告され、熊本県で 1 例が 1 件と 2 例が 2 件確認された。陽性診断は PCR 検査で行われた。四半期後、さらに 11 件の発生が報告された。内訳は、1 つの施設で 10 例、1 つの施設で 5 例、3 つの施設でそれぞれ 4 例、1 つの施設で 3 例、1 つの施設で 2 例、4 つの施設でそれぞれ 1 例であった。臨床症状としては、発咳、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。

イギリス

2 件報告された。1 件はエセックス州の施設で 1 例、もう 1 件はカンブリア州の施設で 2 例確認された。臨床症状としては、発咳、食欲不振、元気消失、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は、鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

アメリカ

5 件報告された。2 件はワシントン州の各施設で、1 例ずつ確認された。3 件はワシントン州とワイオミング州にある施設で、2 例ずつ確認された。

腺疫

カナダ

6 件報告され、オンタリオ州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状としては、膿瘍、発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を認めた。症例の一部は PCR 検査で陽性診断が行われた。

フランス

50 件報告された。そのうち 43 件は、アイン県、アリエ県、アルプ・ド・オート・プロヴァンス県、ブーシュ・デュ・ローヌ県、カルヴァドス県、ウール県、オート・ガロンヌ県、オート・マルヌ県、オート・ソーヌ県、エロー県、シャラント・マリティーム県、ジロンド県、ランド県、ロワール・アトランティック県、マンシュ県、マイエンヌ県、ムルト・エ・モゼル県、モゼル県、オルヌ県、ピュイ・ド・ドーム県、ピレネー・アトランティック県、サルト県、サヴォワ県、セーヌ・マリティーム県、ヴォージュ県、イブリーヌ県の各施設で 1 例ずつ、6 件は、アヴェロン県、ドローム県、オート・マルヌ県、ガール県、イル・エ・ヴィレーヌ県、ピレネー・オリアantal県の各施設で 2 例ずつ発生した。このうち 1 件は、EHV-4 との混合感染であった。また、セーヌ・マリティーム県の施設で 3 例確認された。臨床症状としては、発熱、発咳、嚥下障害、リンパ節腫脹、鼻汁を認め

た。陽性診断は、鼻咽頭スワブ、喉嚢洗浄液、膿または膿性分泌物の PCR 検査で行われた。

ドイツ

37 件報告された。36 件は、バーデン・ヴュルテンベルク州、バイエルン州、ニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州にある施設で 1 例ずつ確認された。1 件は、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州の施設で 4 例確認された。臨床症状としては、膿瘍、嚥下困難、発熱、喘鳴、咽頭後リンパ節の腫脹を認めた。陽性診断は、膿瘍スワブ、喉嚢洗浄液、鼻腔スワブ、鼻咽頭スワブ、鼻咽頭洗浄液、喉嚢洗浄液の PCR 検査で行われた。

#アイルランド

四半期後、コノート地方（3 例）、レンスター地方（6 例）、マンスター地方（6 例）で確認された。陽性診断は、PCR 検査（9 例）、PCR 検査と培養検査の両方（2 例）、培養検査のみ（4 例）によって行われた。

オランダ

26 件報告された。ドレンテ州、フレヴォラント州、フリースラント州、ヘルダーラント州、フローニンゲン州、リンブルフ州、ノールトブラバント州、ノールトホラント州、オーフェルアイセル州、ゾイトホラント州、ユトレヒト州の各施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スウェーデン

5 件報告され、ダーラナ県、クローノベリ県、スコーネ県、ヴェストマンランド県、ヴェステルノールランド県の各施設で 1 例ずつ確認された。

スイス

3 件報告され、ベルン州とトゥールガウ州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状としては、発熱と呼吸器症状を認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。

アメリカ

34 件報告された。そのうち 33 件は、フロリダ州、メリーランド州、ミシガン州、ニューヨーク州、ノースカロライナ州、ペンシルベニア州、ロードアイランド州、ワシントン州、ウィスコンシン州の各施設で 1 例ずつ確認された。1 件は、ミシガン州の施設で 2 例確認された。臨床症状としては、膿瘍、発熱、嚥下障害、食欲不振、元気消失、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱、咽頭痛を認めた。

Streptococcus zooepidemicus による呼吸器感染

スウェーデン

ノールボッテン県で 1 例確認された。

消化器疾患

発生国	クロストリジウム性腸炎	馬コロナウイルス	ロドコッカス	ロタウイルス	サルモネラ症
カナダ	3	-	-	2	-
フランス	-	-	1	-	-
アイルランド	-	-	-	-	1#
オランダ	-	4	-	-	14

#：四半期後に報告があった追加情報

クロストリジウム腸炎

カナダ

3 件報告され、ケベック州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状としては、疝痛と下痢を認めた。

馬コロナウイルス

オランダ

4 件報告され、フリースラント州とユトレヒト州の各施設で 1 例ずつ認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。

ロドコッカス

フランス

オルヌ県の施設で、1 件報告された。陽性診断は糞便の細菌学的検査により行われた。

ロタウイルス

カナダ

2 件報告され、ケベック州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状としては、下痢と肝炎を認めた。

サルモネラ症

アイルランド

四半期後、レンスター地方（1 例）が培養により確認された。

オランダ

14 件報告され、アルメロー州、フレヴォラント州、フリースラント州、ノールトブラバント州、ゾイトホラント州、ユトレヒト州の各施設で 1 例ずつ認めた。陽性診断は PCR 検査により行われた。

神経疾患

発生国	EEE	EEV	EHV-1	WNV
カナダ	-	-	3	-
フランス	-	-	5	-
ドイツ	-	-	1	-
オランダ	-	-	1	-
南アフリカ	-	110 #	-	1 #
スウェーデン	-	-	3	-
アメリカ	4	-	8	-

#：四半期後に報告があった追加情報

東部馬脳炎（EEE）

アメリカ

4 件報告され、フロリダ州とジョージア州の各施設で 1 例ずつ確認された。

ウマ脳症ウイルス（EEV）

#南アフリカ

南アフリカでは風土病と見なされており、今回の調査期間中、四半期後に全州で報告があった。内訳は以下の通りである。東ケープ州（3 例）、フリーステイト州（7 例）、ハウテン州（80 例）、クワズール・ナタール州（8 例）、リンポポ州（1 例）、ムプマランガ州（1 例）、北ケープ州（2 例）、ノースウエスト・プロヴィンス州（5 例）、西ケープ州（3 例）。

馬ヘルペスウイルス 1 型（EHV-1）による神経疾患

カナダ

3 件報告され、オンタリオ州とケベック州の施設で、1 例ずつ確認された。臨床症状として、運動失調と膀胱麻痺を認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。

フランス

5 件報告され、ドルトーニュ県、メーヌ・エ・ロワール県、マイエンヌ県、オー・ド・セーヌ県の施設で 1 例ずつ確認された。ジロンド県の 1 つの施設では 4 例が報告された。臨床症状として、運動失調、倦怠感、発熱、横臥、硬直を認めた。陽性診断は鼻咽頭スワブまたは血液の PCR 検査で行われた。

ドイツ

バーデン・ヴュルテンベルク州の施設で 1 例報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

オランダ

フリースラント州の施設で 1 例報告された。臨床症状として、運動失調と膀胱麻痺を認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スイス

3 件報告され、アールガウ州、ジュネーブ州、チューリッヒ州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、食欲不振、後肢浮腫、発熱、非特異的な中枢神経症状を認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。

アメリカ

8 件報告された。そのうち 6 件は、カリフォルニア州、ミネソタ州、ニューヨーク州、オクラホマ州、ウィスコンシン州の各施設で 1 例ずつ確認された。そのほかの 2 件は、カリフォルニア州とワイオミング州の各施設で 2 例ずつ確認された。臨床症状としては、運動失調、排尿困難、後肢の衰弱、四肢浮腫、発熱、横臥、尿の滴下、尿閉を認めた。

ウエストナイルウイルス (WNV)

#南アフリカ

四半期後、西ケープ州の施設で 1 例報告された。

その他の疾患

発生国	AHS	アナプラズマ症	EIA	EGS	レプトスピラ症
ベルギー	-	-	1	-	-
ブルガリア	-	-	1	-	-
カナダ	-	-	2	-	-
チリ	-	-	2	-	-
フランス	-	-	3	-	-
ドイツ	-	4	-	-	-
イタリア	-	-	3	-	1
ナミビア	6	-	-	-	-
オランダ	-	4	-	-	-
南アフリカ	115#	-	-	-	-
スイス	-	2	-	-	-
イギリス	-	-	-	33	-
アメリカ	-	-	19	-	-

発生国	MRSA	NWS	PF	ピロプラズマ症	PHF
イタリア	-		-	64	-
メキシコ	-	1	-	-	-
オランダ	-		-	1	-
南アフリカ	-	-	-	132#	-
スウェーデン	1	-	-	-	-
スイス	-	-	-	2	-
アメリカ	-	-	5	-	1

#：四半期後に報告があった追加情報

アフリカ馬疫（AHS）

ナミビア

6 件報告された。そのうち 5 件はエプキロ、オカハンジャ市、オマルル、オチコバ市、ウィントフック市で 1 例ずつ確認された。残りの 1 件はマリエンタール市で発生し、1 つの施設で 24 例が確認された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

#南アフリカ

西ケープ州の AHS 管理区域を除き、南アフリカで風土病となっている。四半期後、全国のすべての州から報告された。西ケープ州で発生した症例は、同州内の AHS 感染地域であり、AHS 管理区域ではなかった。内訳は以下の通りである。東ケープ州（2 例）、フリーステイト州（11 例）、ハウテン州（61 例）、クワズールー・ナタール州（9 例）、リ

ンポポ州（4 例）、ムプマランガ州（9 例）、北ケープ州（5 例）、ノースウエスト・ブ
ロヴィンス州（13 例）、西ケープ州（1 例）。

アナプラズマ症

ドイツ

4 件報告され、ニーダーザクセン州とノルトライン・ヴェストファーレン州で 1 例ずつ
確認された。陽性診断は EDTA 血液により行われた。

オランダ

4 件報告され、ゲルデルラント州の各施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断は PCR 検査
で行われた。

スイス

2 件報告され、アールガウ州とチューリッヒ州の施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状
として、貧血と発熱が含まれ、1 つの症例では、発熱に加えて採血時の Ht 値の低下と Bil
値の上昇が認められた。陽性診断は PCR 検査により行われた。

馬伝染性貧血（EIA）

ベルギー

リエージュ州の施設で 1 例確認された。陽性診断はゲル内沈降反応により行われた。

ブルガリア

ガブロヴォ州の施設で 1 例確認された。陽性診断はゲル内沈降反応により行われた。

カナダ

2 件報告され、アルバータ州の各施設で 1 例ずつ確認された。

チリ

2 件報告され、コラル・マイコとニュブレ県の施設で 1 例ずつ確認された。陽性診断
はゲル内沈降反応により行われた。

フランス

3 件報告され、アルプ・ド・オート・プロヴァンス県、アルデシュ県、ヴァール県の施
設で 1 例ずつ確認された。

イタリア

3 件報告され、フロジノーネ県、ラティーナ県、トレヴィーゾ県の施設で 1 例ずつ確認
された。陽性診断は、血清を用いたゲル内沈降反応で行われた。

アメリカ

19 件報告された。そのうち 16 件は、カリフォルニア州、コロラド州、オクラホマ州、
テキサス州、バージニア州の施設で 1 例ずつ確認された。2 件はテキサス州の各施設で 2
例ずつ、1 件はテキサス州の施設で 5 例確認された。

馬のグラスシックネス (EGS)

イギリス

33 件報告された。そのうち 32 件は、アバディーンシャー行政区域、アンガス州、ベッドフォードシャー州、クラックマナンシャー州、カンブリア州、イースト・ヨークシャー州、エディンバラ州、ハートフォードシャー州、ハイランド州、ケント州、レスターシャー州、リンカーンシャー州、ノーサンプトンシャー州、シェトランド州、サマセット州、スタッフォードシャー州、サフオーク州、ノース・ヨークシャー州、パース・アンド・キンロス州、ウェスト・ロージアン州、ウェスト・サセックス州、ウスターシャー州の施設で 1 例ずつ確認され、1 件はバークシャー州の施設での 2 例確認された。一部の症例での陽性診断は、獣医師による臨床症状、剖検による神経節組織病理学、外科手術による腸生検と組織病理学の採材によって行われた。

レプトスピラ症

イタリア

ローマ県内の施設で 1 例確認された。臨床症状として、発熱、黄疸、体重減少、衰弱を認めた。陽性診断は、EDTA 血液を用いた PCR 検査により行われた。

MRSA

スウェーデン

ストックホルム県の施設で 1 例報告された。

新世界ラセンウジバエ (NWS)

メキシコ

オアハカ州の施設で 1 例報告された。陽性診断は、寄生虫学的検査により行われた。

ハト熱 (PF)

アメリカ

5 件報告された。ジョージア州、マサチューセッツ州、ペンシルベニア州、ワシントン州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として疝痛を認めた。

ピロプラズマ症

イタリア

Babesia caballi の発生が 13 件報告された。そのうち 12 件はラツィオ州の異なる施設における単発症例で、1 件はラツィオ州の同じ施設において 2 例確認された。陽性診断は EDTA 血液の検査で行われた。

Theileria equi の発生は 51 件報告された。内訳は、単発症例が 46 件、3 例の症例が 2 件、4 例の症例が 1 件、5 例の症例が 1 件、6 例の症例が 1 件で、いずれもラツィオ州、

ロンバルディア州、トスカーナ州の施設で発生した。陽性診断は EDTA 血液の PCR 検査で行われた。

オランダ

T. equi の症例がゾイトホラント州の施設で 1 例報告された。陽性診断は PCR 検査によって行われた。

南アフリカ

ピロプラズマ症が風土病と見なされており、四半期後に 9 つの州すべてから合計 132 例の症例が報告された。その内訳は、*B. caballi* と *T. equi* で個別に報告されており、以下の通りである。

B. caballi : クワズール・ナタール州 (1 例)、ムプマランガ州 (2 例)。

T. equi : 東ケープ州 (3 例)、フリーステート州 (4 例)、ハウテン州 (60 例)、クワズール・ナタール州 (16 例)、リンポポ州 (2 例)、ムプマランガ州 (18 例)、北ケープ州 (1 例)、ノースウエスト州 (6 例)、西ケープ州 (19 例)。

スイス

2 件報告され、ルツェルン州の各施設で 1 例ずつ確認された。臨床症状として、肢の浮腫と発熱を認めた。陽性診断は、*Theileria equi* 感染について PCR 検査で行われた。

馬のポトマック熱 (PHF)

アメリカ

ペンシルベニア州の施設で 1 例報告された。臨床症状として、発熱、疝痛の兆候、下痢が確認された。